

赤十字NEWS

October2011 Vol.857
http://www.jrc.or.jp

10



編集・発行 / 日本赤十字社 企画広報室 〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3 TEL:03-3438-1311 一部20円 赤十字新聞の購読料は、社費に含まれています。



「赤十字ゆかりの地」 モニュメント完成 人道がつむいだ「第九」と赤十字

第一次大戦で捕虜となったドイツ兵を人道的に待遇し、「奇跡の収容所」と呼ばれた徳島県の板東俘虜収容所。1918年6月、ドイツ兵捕虜は別の国に捕えられている仲間のためにチャリティー演奏会を開催し、ベートーベンの「交響曲第九番」を日本で初めて演奏します。この演奏会ポスターに記されていたのが「人道・博愛」の象徴としての赤十字マークでした。日本赤十字社徳島県支部は、このポスターをモチーフとする「赤十字ゆかりの地」モニュメントをこのほど、同収容所跡地に設置。9月8日、除幕式が行われました。

広報特使・藤原紀香さんと「赤十字ゆかりの地」宣言書を受け取った板東小学校6年美馬遼太君

CONTENTS

TOPICS 2

東日本大震災から半年
記者報告会 開催

藤原紀香さんが
「赤十字ゆかりの地」宣言

日本災害看護学会
第13回年次大会 開催

TOPICS 3

平成22年度
収支決算の概要

理事会審議報告
第78回代議員会審議結果公告
常任理事会開催報告

SPECIAL 4 5

HOW TO USE AED!
~いのちを救う主役は
あなたです~

AREA NEWS 6 7

福島・群馬・岩手・福井
心からのご寄付
書籍紹介
2012年度赤十字手帳ご案内
Voice & プレゼント

WORLD 8

ハイチ被災地で
健康ボランティア育成中
「世界ボランティア会議」開催
「赤十字シンポジウム2011」
参加者募集

クロスアップひと



全国学生献血推進
実行委員会委員長
すみたあいみ
角田藍美さん

献血の仲間づくりは、楽しいんです！

ネイルアートや、ご飯と味噌汁プレゼントなどユニークな企画で若者の献血拡大に取り組む北海道学生献血推進協議会。その会長として献血呼びかけの先頭に立ちます。「その活動楽しいの？って言われたりもしますが、いろんなアイデアでみんなを献血に誘えた時はうれしいですね」

大学1年の夏、「人の役に立ちたい」と献血のボランティアを始めましたが、少し大人しい活動スタイルに物足りなさも感じていま

した。そんな時、全国の学生献血推進ボランティアの代表者が集まる会議に参加。「全国のメンバーの熱意と真剣さに、もっと本気で取り組まなきゃって刺激を受けました」

それからは広報やイベントのいろいろなアイデアを实践。今後の取り組みについても、「献血を未体験でも、きっかけがあれば協力してくれる方が多いので、友達に声をかけるボランティアメンバーをどんどん増やしていきたいです」と抱負を語ります。

PROFILE

1990年9月生まれ。現在、北海道大学経済学部3年。北海道の学生献血推進協議会会長とともに、全国学生献血推進実行委員会(289団体・所属学生ボランティア4973人)の代表も務めています。趣味は旅行で最近も西日本を一人旅しました。将来は起業も視野に入れるなど大きな目標を持っています。

東日本大震災から半年

近衛社長が会見で取り組みを総括

義援金配分の改善へ協議を呼びかけ

東日本大震災発生から6ヶ月が経とうという9月9日、日本赤十字社の近衛忠輝社長は記者報告会を開催し、義援金の配分について「被災地域への支援に偏りを出さない」「信頼性を損なわない」ため、一括した受け付けを行い、公平に配分されるように尽力してきたことを説明しました。

一方、配分基準の策定やツ兵と地域の人々との友情にまでつながったこの収容所は、後に「奇跡の収容所」と呼ばれ、この人道的な事実が（略）その後議論された捕虜の待遇に関するジュネーブ条約に大きな影響を与えました」と宣言を朗読。

近衛社長は「この収容所で世界に誇るべき人道的な実践を、ここ徳島県鳴門市から広く世界に発信していただくとあいつつしました。」

（※「俘虜」は捕虜と同義語）



近衛社長が記者報告会を開催し、義援金の配分について説明した。

原子力災害への備えを強化

また、福島原発事故対応として、内部被曝線量を測るホールボディカウンター、甲

「原発事故対応は数十年規模での支援が必要になる。各国赤十字社の意見も踏まえ、赤字として何ができるか考えていきたい」と意欲を見せました。

人道実践語り継ぐモニュメント完成 (徳島県)

藤原紀香さんが「赤十字ゆかりの地」宣言

第一次世界大戦で捕虜となつたドイツ軍兵士への人道的な対応を実践したことで知られる「板東俘虜収容所」（徳島県鳴門市）。その功績を讃える「赤十字ゆかりの地」モニュメントの除幕式が9月8日、市内のドイツ村公園で行われ、赤十字広報特使の藤原紀香さんが「赤十字ゆかりの地」を宣言しました。

同収容所にドイツ軍捕虜が収容されていたのは大正6年から9年までの3年弱。松江豊寿所長は上層部の反対を押し切り、人権を尊重した施設運営に尽力しました。

モニュメントは、この人道の実践を後世に語り継ぐため、収容所跡地のドイツ村公園内に日赤徳島県支部が建立したものです。

飯泉嘉門日赤徳島県支部長（同県知事）や日赤関係者ら約120人が出席して行われた除幕式で紀香さんは「ドイツ兵と地域の人々との友情にまでつながったこの収容所は、後に「奇跡の収容所」と呼ばれ、この人道的な事実が（略）その後議論された捕虜の待遇に関するジュネーブ条約に大きな影響を与えました」と宣言を朗読。

近衛社長は「この収容所で世界に誇るべき人道的な実践を、ここ徳島県鳴門市から広く世界に発信していただくとあいつつしました。」

（※「俘虜」は捕虜と同義語）



乳幼児や児童のおかれた様々な状況に適切に対応するため、日本赤十字社では全国16カ所で児童福祉施設を運営しています

乳児院で一日保育も体験

藤原紀香さんは9月9日、徳島赤十字乳児院（小松島市）を訪ね、一日保育士体験として、リズム遊びや絵本の読み聞かせなどを行い、36人の子どもたちと笑顔のひとときを過ごしました。

同乳児院は昭和28年に認可

日本災害看護学会 第13回年次大会

東日本大震災の救護・支援活動を共有 「いまこそ人道の実践を」

国連事務総長特別代表防災担当が講演

日本災害看護学会の第13回年次大会（日本赤十字社ほか）が9月9、10日の2日間、さいたま市で開催されました。東日本大震災による避難生活を送る被災者がいまだに8万人を数えるなかで開催された大会。発表者からは、看護・支援活動のさまざまな実践が報告されました。

国連事務総長特別代表防災担当の Margareta Wahlström さんは「被災者の保護と権利」をテーマに講演し、一本化されていない救護・支援活動に際しての国際的ガイドラインの統合へ向けた国連の動きなどを紹介。「そこに盛り込まれる『被災者の権利』が空証文にならないよう我々はなすべきことを考えなければならぬ」と問題提起しました。

日本看護協会の常任理事、井伊久美子さんは、災害時支援ネットワークシステムによって、延べ3770人の看護師を派遣した取り組みを紹介するとともに、被災地の看護師に職が相次いでいることに触れ、早急な対策の必要性を訴えました。

石巻赤十字病院の金愛子看護部長は、市内で唯一機能し続けた総合病院として、被災した他の医療機関にかかってきたすべての透析患者を受け入れたら、震災前の5倍の分娩に対応してきた半年間の活動を報告。「全国の赤十字病院から合計2393人の応援をいただき、この事態を乗り切ることができました」と感謝を述べました。

人間力を身につけよう

大会では近衛社長が来賓あいさつ。「災害看護に求められるのはどんな状況でも応用が効く人間力。災害多発国の日本では、看護師の誰もが災害看護の力を身につける必要があり」と学会への期待を寄せました。

大会長を務めた日赤の浦田喜久子看護部長は「災害看護と人道支援」をテーマに講演。今回の震災の課題として、避

「東日本大震災における救援活動の経験知と課題」と題した緊急討論では、さまざま



講演する国連事務総長特別代表防災担当

カフェ感覚で防災学習 防災マップ作成で地域のつながりを



一般参加の竹澤織さん(高3)は「自宅に戻ったら家族と一緒にやってみよう」と感想

学会では、災害時をイメージしながら防災を考えるユニークな訓練も行われました。その名も「災害看護カフェ」。地図を囲みながら皆で意見を出し合い、リラックスした雰囲気の中で防災知識を身につけようという企画です。

訓練では、危険な場所や避難所への経路、手助けが必要な人の有無などを色分けして地域の防災地図を作成。店長役の尾山とし子准教授(日赤北海道看護大学)は「こうした和やかな雰囲気の中での訓練が、地域の人たちのつながりを構築していくのです」と訓練の意義を語っています。

平成22年度 収支決算の概要

日本赤十字社の会計は、一般会計と6つの特別会計から成り立っています。以下に平成22年度の一般会計、医療施設特別会計、血液事業特別会計、社会福祉施設特別会計の歳入歳出決算の概要を報告します。

決算内容の詳細については、日本赤十字社ホームページ (<http://www.jrc.or.jp/about/report/kessan/index.html>)、もしくは本社・支部でご覧いただけます。

※本紙面では、一般会計及び3つの事業にかかる特別会計のみ掲載しております。退職給与・退職年金・損害填補の各資金にかかる特別会計の詳細は弊社ホームページをご覧ください。

一般会計

社員の皆様からの社費(会費)や寄付金等を財源に本社及び都道府県支部で実施した国際活動、災害救護活動、救急法等の講習会、青少年赤十字、ボランティア活動等にかかる歳入歳出をとりまとめたものです。

科 目	決算額(千円)	内 訳
本社収入	20,981,973	
社資収入	11,717,444	法人社資、寄付(NHK海外たすけあい、海外救援金を含む)及び支部からの送納金
委託金等収入	199,642	国からの委託金
補助金及び交付金収入	778,953	旧日赤救護看護婦等慰労給付金などの国庫補助金、(財)JKA等からの補助金
繰入金	405,660	他会計からの繰入金等
前年度繰越金等	7,880,273	前年度繰越金、貸付金償還金収入、雑収入等
支部収入	21,772,271	
社資収入	16,700,298	個人及び法人から拠出いただいた社費及び寄付金 一般社資収入 14,303,102 個人社員数 10,153,150人 法人社資収入 2,397,195 法人社員数 143,413法人
委託金等収入	120,527	ホームヘルパー養成のための他団体からの委託金等
補助金及び交付金収入	601,406	都道府県・市区町村からの補助金収入、本社からの交付金等
繰入金収入	1,111,246	施設整備準備資金等からの繰入金
前年度繰越金等	3,238,792	前年度繰越金、貸付金償還金収入、雑収入等
歳入合計	42,754,245	
本社費	17,756,910	
災害救護事業費	742,471	災害のための救援物資の備蓄や救護看護士の養成に要した経費
社会活動費	934,347	救急法等5つの講習会、奉仕団活動、青少年赤十字活動普及のための経費
国際活動費	4,551,186	国際救援、開発協力事業にかかる経費(ハイチ大地震、チリ大地震の救援等事業費を含む)及び国際赤十字への拠出金等
社業振興費	485,478	社員募集のための経費及び広報活動費
基盤整備交付金・補助金支出	975,138	支部・病院・血液センター・社会福祉施設の基盤整備のための交付金、看護大学施設整備のための補助金
積立金支出	6,490,672	災害救護事業、国際活動等のための準備積立金等
資産取得及び資産管理費	259,300	建物整備工事費、資産の維持管理費等
その他	3,318,315	本社管理事務費、災害等資金からの借入金の償還等
支部費	19,910,323	
災害救護事業費	2,116,275	災害救護訓練費、救援物資等整備費、救護看護士の養成費等及び実際の災害で救護等に要した経費
社会活動費	2,892,042	離島僻地等への巡回診療、献血推進等血液事業、救急法等5つの講習会開催などに要した経費、赤十字奉仕団や青少年赤十字活動普及のための経費、ホームヘルパー養成事業費等
国際活動費	188,670	国際救援・開発協力のための経費、国際交流のための経費等
指定事業地方振興費	814,130	災害救護設備整備費、救急医療体制整備費等
地区区分交付金支出	2,177,902	地区・区分への事務費及び事業費の交付金
社業振興費	1,870,043	社員募集及び社員管理、広報活動費等
基盤整備交付金・補助金支出	1,272,932	病院、血液センター、社会福祉施設の基盤整備のための交付金支出
本社送納金	2,308,781	本社への社資送納金
資産取得及び資産管理費	1,445,128	建物整備工事費、資産の維持管理費等
その他	4,824,417	支部管理事務費、施設整備準備等のための積立金等
歳出合計	37,667,234	
歳入歳出差引額	5,087,010	

医療施設特別会計

本特別会計に属する本社の収益・費用及び診療収入等を主な財源とする赤十字病院等の運営に伴う収益・費用をとりまとめたものです。

科 目	決算額(千円)	内 訳
収益的収入		
本社収益	590,338	施設繰入金等
病院収益	917,850,566	
医業収益	862,207,554	入院及び外来の診療等にかかる収益 入院患者延数 11,318,735人 外来患者延数 18,158,568人
医業外収益	33,536,862	受取利息、請負収益、運営費補助金等収益、施設設備補助金等収益等
医療社会事業収益	1,149,994	居宅介護支援事業等の収益、国際医療救護交付金等
付帯事業収益	9,663,995	看護専門学校、老人保健施設等の収益
特別利益	11,292,159	固定資産売却益等
収益的収入合計	917,869,724	
収益的支出		
本社費用	693,789	赤十字病院全体の共通事業にかかる施設繰出金等
病院費用	891,407,719	
医業費用	839,569,592	材料費、給与費、委託費等
医業外費用	22,135,998	本部繰出金、支払利息、退職給付債務変更時差異等
医療奉仕費用	6,388,251	居宅介護支援事業等の給与費、経費等
付帯事業費用	10,585,142	看護専門学校、老人保健施設等の運営にかかる経費等
特別損失	12,152,815	固定資産除却損等
法人税等	575,918	
収益的支出合計	891,530,327	
収入支出差引額	26,339,396	黒字施設数 61施設 黒字額 34,787,677 赤字施設数 29施設 赤字額 8,344,829

(注)「収益的収入合計」及び「収益的支出合計」において、本社・施設間の内部取引である病院建物建設資金、病院財政調整事業資金の貸付金に関する利息及び施設拠出金は除いていること。

※上記決算額は、千円未満で切り捨てているため、合計額とは一致しないこと。

血液事業特別会計

本社(血液事業本部)及び薬価に基づく血液供給収入等を主な財源とする赤十字血液センターの運営に伴う収益・費用をとりまとめたものです。

科 目	決算額(千円)	内 訳
収益的収入		
事業収入	159,601,983	輸血用血液製剤、分画製剤、原料血液の供給収入等
事業外収入	4,581,779	国庫補助金、他会計繰入金、受取利息等
関連事業収入	1,026,797	受託事業にかかる補助金等収入等
特別収入	596,410	過年度損益修正にかかる収入等
収益的収入合計	165,806,970	
収益的支出		
事業費用	148,066,943	献血者確保・採血・製造供給等にかかる人件費、材料費、経費
事業外費用	6,529,581	退職給付債務変更時差異、他会計繰出金、退職金等
関連事業費用	1,126,490	受託事業にかかる人件費、材料費、経費等
特別損失	564,934	前年度消費税修正にかかる費用等
収益的支出合計	156,287,950	
収入支出差引額	9,519,019	黒字施設数 43施設 黒字額 11,571,564 赤字施設数 7施設 赤字額 2,052,544

社会福祉施設特別会計

措置費収入、介護保険収入、自立支援費等収入、補助金等を主財源とする各種社会福祉施設の運営に伴う収入支出をとりまとめたものです。

科 目	決算額(千円)	内 訳
収 入		
經常活動による収入	10,358,282	
乳児院 8施設	1,873,708	措置費収入、受託収入、都道府県・市町村からの補助金収入等
保育所 3施設	478,293	運営費収入、都道府県・市町村からの補助金収入等
児童養護施設 1施設	286,923	措置費収入、一般会計繰入金収入等、都道府県・市町村からの補助金収入等
肢体不自由児施設 3施設	1,922,041	自立支援費等収入、診療収入、措置費収入、受託収入等
重症心身障害児施設 1施設	1,307,809	自立支援費等収入、診療収入、受託収入等
老人福祉施設 8施設	3,657,167	介護保険収入
障害者支援施設 1施設	255,566	自立支援費等収入、受託収入等
身体障害者社会参加支援施設 2施設	391,897	受託収入、都道府県・市町村からの補助金収入等
本部経理区分	184,873	受取利息配当金収入、経理区分間繰入金収入、一般会計繰入金収入
施設整備等による収入	210,567	施設整備等補助金収入、施設整備等寄付金収入
財務活動による収入	1,687,696	積立預金取崩、退職給与資金交付入金等
前期末支払資金残高	3,243,590	
収入合計	15,500,136	
支 出		
經常活動による支出	10,020,396	
乳児院 1,837,171		運営にかかる人件費、事業費、事務費等
保育所 502,309		運営にかかる人件費、事業費、事務費等
児童養護施設 289,674		運営にかかる人件費、事業費、事務費等
肢体不自由児施設 1,925,291		運営にかかる人件費、事業費、事務費等
重症心身障害児施設 1,388,385		運営にかかる人件費、事業費、事務費等
老人福祉施設 3,383,466		運営にかかる人件費、事業費、事務費等
障害者支援施設 277,043		運営にかかる人件費、事業費、事務費等
身体障害者社会参加支援施設 376,803		運営にかかる人件費、事業費、事務費等
本部経理区分 40,249		人件費、事務費等
施設整備等による支出	995,229	固定資産取得支出
財務活動による支出	838,541	借入金元金償還金、積立預金積立、退職給与資金積立金等
支出合計	11,854,167	
収入支出差引額	3,645,969	

1 付議事項
1 予算の補正について
 (東日本大震災復興支援事業)にかかると一般会計歳入歳出予算の補正、旭川赤十字病院の血管造影撮影装置の更新等、石巻赤十字病院の仮設病棟整備等、三原及び徳島赤十字病院の借入金繰上償還にかかる医療施設特別会計歳入歳出予算の補正)

2 資金の借入について
 (大田原赤十字病院の長期運転資金、京都第一赤十字病院の放射線治療システム更新、三原及び徳島赤十字病院の借入金繰上償還にかかる資金の)

3 理事会に付議する事項について
 (山田赤十字病院のエネルギーセンター建物等の所有権移転にかかる医療施設特別会計歳入歳出予算の補正、沖縄赤十字病院の新築移転に伴う不動産の処分)

審議の結果、予算の補正及び資金の借入については、原案のとおり議決されました。理事會に付議する事項については、原案のとおり理事會に付議することについて了承されました。

また、海外救援金による東日本大震災復興支援事業の進捗状況、日本赤十字社と田辺三菱製薬株式会社の血漿分画事業統合の検討、大田原赤十字病院の名称変更、予算の補正にかかる7月及び8月分の社長専決事項の決定状況について、それぞれ報告しました。

理事会審議報告
 平成23年8月9日、理事會に文書による付議が行われました。審議結果は左記のとおりです。

付議事項
1 第78回代議員會に付議する事項について
 (平成22年度事業報告及び収入支出)

第78回代議員會
 去る3月11日に発生しました東日本大震災の影響により一部の施設の収支決算のとりまとめに時間を要してしまいましたが、このたび、全ての収支決算がとりまとまったことから、平成22年度事業報告及び収支決算の承認について、第78回代議員會に文書による付議を行いました。

審議結果は下記のとおりです。

第78回代議員會
 去る3月11日に発生しました東日本大震災の影響により一部の施設の収支決算のとりまとめに時間を要してしまいましたが、このたび、全ての収支決算がとりまとまったことから、平成22年度事業報告及び収支決算の承認について、第78回代議員會に文書による付議を行いました。

審議の結果、文書をもって代議員會に諮られました。理事會の構成代議員現員220人のうち、174人から回答が寄せられ、174人全員が賛成しましたので、平成23年8月29日付で原案のとおり議決されました。

平成23年9月2日
 日本赤十字社

HOW TO USE AED!



覚えてみませんか

いのちを救う主役はあなたです。救急法基礎講習より



運動中に突然倒れた人をAED(自動体外式除細動器)で救助—といったニュースをよく耳にするようになりました。次に人命救助を行うのはあなたかもしれません。いざというとき慌てないように、AEDの基礎知識を身につけてみませんか。救急法指導歴30年のベテラン、菅野絹江指導員が紹介します。

1 落ち着いて 状況を把握



周囲の観察を
救助活動で大切なのは救助者の安全確保です。二次事故(災害)の危険はないかなど、周囲の状況を観察してください。



声をかけて意識を確認
大出血の有無など傷病者の状態を観察しながら近づきます。軽く肩を叩きながら「大丈夫ですか?」と声をかけ、反応を確認します。



協力を求めよう
「誰か助けてください」など、周囲の人に救助の手伝いを求めます。

2 119番通報とAED確保を

協力者がいる場合は、その人に119番通報とAEDを依頼します。協力者がいない場合は自分自身で行います。



AEDはどこにある?
AEDは公共施設や駅、銀行、高層ビルなどに設置されています。自宅周辺や通勤通学途中などのどこにAEDが置いてあるのかを普段から確認しておくようにしましょう。

3 呼吸の有無を確認する

気道確保

傷病者を仰向けに寝かせた状態で、下あごを引き上げ、頭部を後方に傾けます。のどの奥が広がり、空気が通りやすくなります。



呼吸の確認

気道確保の姿勢で、顔を傷病者の胸の方向に向け、耳と頬を傷病者の鼻と口に近づけます。胸の動きや、吐き息などから呼吸の有無を10秒以内に判断します。

※すぐにAEDが到着した場合には、心肺蘇生法の前にAEDを実施します

「一度でも体験することが 勇気を生む」

神奈川県支部 救急法指導員 菅野絹江さん(66歳)

音声ガイドがあるのでAEDの操作は難しくありません。でも、実際に目の前に人が倒れている状況では、誰でも足がすくんでしまいます。そのとき一歩を踏み出す勇気を与えてくれるのが、講習会での体験だと思います。

以前に比べると今の救急法講習はより親しみやすい内容に整理されています。ぜひご参加いただき、多くの人に「私にもできた!」という体験をしてもらいたいですね。

楽しく練習して、競技会優勝!

AED操作のモデルは、川崎市立坂戸小学校の山田沙矢さん(6年)と小塚麻結さん(同)。2人は神奈川県支部が昨年10月に開催した赤十字救急法競技会に成人や高校生に混じって参加、心肺蘇生の部で優勝した実力者です。

練習は休み時間やお昼の合間に。「難しかった人工呼吸とかができるようになって練習は楽しかった」と山田さん。小塚さんは「倒れている人がいたらできる限りのことをして助けたい」と意欲を見せてくれました。



左から山田さん、菅野指導員、小塚さん

6 救急車に引き継ぐまで責任を

AEDが「ショックは不要です」の判断をした際も、心肺蘇生法は続けます。心肺蘇生法は中止は、○傷病者が自分で体を動かした、○うめき声を出したり、正常な呼吸が戻った、○救急隊に引き継いだ—などの場合に限られます。なお、到着した救急隊には、発見時の様子やAED使用の有無など実施した救命措置の内容を伝えます。

企業でも講習普及を LAWSON 株式会社ローソン

株式会社ローソンでは、昨年度から社員教育の一環としてAED短期講習を実施。今年度は約1000人の社員に講習を行う計画です。

今後も日本赤十字社は、企業・団体における救急法などの講習普及に取り組んでいきます。



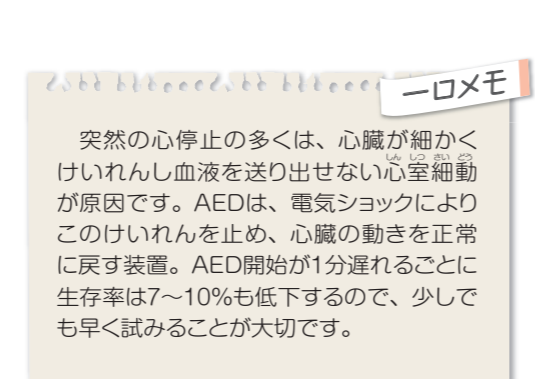
AKB48もAED受講を応援!

AEDの使い方や心肺蘇生法が確実に身につく救急法基礎講習を日赤の各支部では定期的に実施しています。今冬からは講習でAEDの使用方法を学んだ希望者に特製AKB48受講証を発行するキャンペーンを実施予定。スケジュール、申込み方法などは下記ナビダイヤルへ。全国どこからでも最寄りの日赤支部へつなぐことができます。



ナビダイヤル 0570-009595

5 AEDで正常な心臓鼓動の回復を



電極パッドを貼る
AEDの機種によっては、電極パッドから伸びるケーブルがコネクタを本体差込み口に挿入するタイプもあります。
突然の心停止の多くは、心臓が細かくけいれんし血液を送り出せない心室細動が原因です。AEDは、電気ショックによりこのけいれんを止め、心臓の動きを正常に戻す装置。AED開始が1分遅れることに生存率は7~10%も低下するので、少しでも早く試みることが大切です。



電気ショック
充電が完了するとAEDから電気ショックの指示が出されます。傷病者に誰も触れていないことを確認して、ショックボタンを押します。電気ショック後は直ちに心肺蘇生法を再開します。2分後に再び心電図解析が始まるので、音声指示に従って、電気ショックあるいは心肺蘇生法を繰り返します。



AEDが心電図を解析
電極パッドを貼るとAEDが自動的に心電図解析を始めるので、心肺蘇生法を中止し、周囲の人にも1mくらい離れてもらいます。「ショックが必要です」の音声指示が出ると自動的に充電がスタート。「ショックは不要です」の音声指示の際は、直ちに心肺蘇生法を再開します。

AED使用方法



電源を入れる
協力者からAEDを受け取ったら、すぐに電源ボタンを押して、電源を入れます。機種によっては、ふたを開けると自動的に電源が入るタイプもあります。電源が入ると自動的に音声案内が始まります。AEDを準備している間も心肺蘇生法が中断がないよう、協力者に心肺蘇生法を交差し、継続するようにしてください。



AEDの中には、人工呼吸時の感染予防用フェイスシート、水気などを拭き取るタオル、着衣切断用のはさみなども入っています。



4 心肺蘇生法で傷病者に酸素を



人工呼吸は1度に2回

気道確保のまま、傷病者の鼻をつまみ、自分の口で相手の口を覆うように密着させ、胸が上がるのが分かるまで(約1秒間)息を吹き込みます。いったん口を離して、もう一度繰り返したら、胸骨圧迫を行います。

感染症予防のためのフェイスシートなどがない場合、人工呼吸は行わず、心臓マッサージだけでもかまいません。



心臓マッサージ(胸骨圧迫)

乳頭と乳頭を結ぶ線の真ん中が位置の目安です。腕を伸ばしたまま両手を重ね、手のひら下部(手掌基部)で真上から垂直に、上半身の体重を利用して、胸が十分に沈み込む程度(成人では4~5cm)に押し下げます。

毎分約100回のテンポで30回連続して圧迫したら再び人工呼吸にこれを繰り返します。

4分以内が機能回復の分かれ目

呼吸停止、心停止により酸素が脳に供給されなくなると、脳の神経細胞が大きなダメージを受けます。心停止後4分以内は心肺蘇生法を開始することが大切です。

繰り返す

4 5を繰り返す



キャンペーンサイトのメッセージ動画は57万回(9月26日現在)の再生が!

新企画続々の「日赤×AKB48」 メルマガ登録1万6000人を突破

 **全国** 2011.7.22~8.31

全国で約14万人を動員したAKB48の「2011年夏の全国ツアーコンサート」(7月22日~8月31日)。コンサート会場に出席した日本赤十字社のキャンペーンブースにも約1万5000人が来場し、メールマガジン(メルマガ)への登録者は1万6000人を突破しました。

日赤ブースの出展は、AKB48が赤十字オフィシャルメッセンジャーを務めていることから実現したものです。キャンペーンサイト「AKB48と一緒にもっとよく知る赤十字!」(<http://www.jrc-kentei2011.jp>)に設けられた「赤十字検定」の全問正解者から選ばれたボランティア232人がブースでのPR活動に参加。来場者へメルマガ登録などを呼びかけました。

メルマガでは、地域密着の赤十字情報や日赤×AKB48コラボに関するお知らせなどを随時配信しているほか、ここでしか手に入らないオリジナル壁紙のプレゼントも予定しています。また、キャンペーンサイトでは、メンバーのメッセージ動画を順次公開中。サイト訪問者へのメッセージやAED(自動体外式除細動器)体験の感想など、テレビやコンサートとは違ったAKBメンバーの表情が魅力的です。 [Webへ](#)



ちゃんと検査しているから安全です

福島的美味しい梨、ぜひ食べてください! JRC高校メンバーが東京でアピール

 **福島** 2011.9.10

震災による福島第一原発事故から半年が経過した今、福島県産の農作物は売上の減少や価格下落などの風評被害に悩まされています。そんな状況を少しでも解消しようと9月10日、福島県の青少年赤十字(JRC)に加盟する高校生60人が都内で県産の梨の宣伝活動を行いました。

「福島の梨です。どうぞ食べてください!」。朝6時半、青果物取扱量国内最大の東京都中央卸売市場・大田市場せり場に高校生の声が響きます。地元から運んできた採れたての梨をその場でむき、買受人の人たちに試食してもらいました。試食に用意されたのは、福島県産のブランド梨「幸水」。「シャリシャリ感がたまりません」と好評で、あっと言う間に170個分が完食されました。

午後には、ショッピングで賑わう二子玉川駅前を梨を配りながらメッセージカードやパンフレットを使ったPR活動を実施。1時間程度で用意した2000個の梨をすべて配付しました。今回の活動は生徒たちが「震災復興に役立ちたい」と自ら企画。藁谷はるかさん(昌平高校2年)と鯨岡奈子さん(磐城第一高校3年)は「みなさんから頑張ってねと励ましの言葉をかけていただき、元気をもらいました」と笑顔で話してくれました。

ワールド・ファーストエイド・デー 全国で救急法講習会開催

 **全国** 2011.9.10

ワールド・ファーストエイド・デー(世界救急の日・9月第2土曜日)の9月10日を中心に、全国各地で救急法講習会などが開かれ、AEDや心肺蘇生法の体験に多くの人々が参加しました。

静岡県支部では、第1回救急法競技会公式練習会を開催しました。来年1月に県内で初開催される救急法競技会に向け、競技内容の説明を兼ねて行われたもので、心肺蘇生法や三角巾の使い方などの救命・応急手当について復習。参加者からは「緊張するが、実際に人が倒れている現場を見たらもっと緊張すると思うので、練習を重ねておくことは大切」などの感想が出されました。

親子で参加できる教室を開催したのは福岡県支部。「親子でチャレンジ救急法体験」には、10組の小学生と保護者が参加しました。同時に開催された「子育て支援講習会」では幼児がのどに物を詰ませたときの対処法についても学



愛媛県支部は大型ショッピングセンターを会場にAED体験などを実施

習しました。宮崎県支部でも親子で参加できる教室が開催されています。

この他、大阪府支部や愛媛県支部でも講習会、体験会が行われ、参加者からは「AEDの使い方は意外と簡単」などの声が寄せられました。(4・5面に関連記事)

Sports スポーツとコラボ

運動中の突然死を防ぎたい——サッカーJ2ザスパ草津でAED講習



真剣に講習を聞く選手たち

群馬 2011.8.24/9.5

群馬県支部は8月24日、9月5日の両日、サッカーJリーグディビジョン2のザスパ草津の選手、スタッフ36人を対象にAEDの操作方法を含む救急法短期講習を実施しました。

群馬県出身のサッカー元全日本代表の松田選手が、所属していた日本フットボールリーグ(JFL)松本山雅FCの練習中に心筋梗塞で倒れ、急死した事故はサッカーファンのみならず多くのスポーツ関係者に衝撃を与えました。今回の講習会

は、こうした事故を繰り返さないよう、選手や観戦者の万が一に備えたいとチームからの依頼があり企画されたものです。

受講した選手やスタッフは、傷病者の観察、心肺蘇生法、AEDの操作などに真剣な面持ちで挑戦。「サッカー以外の色々な場面でもいざというときに役立てたい」「非常にためになった。この知識は必ずプラスになる」など頼もしい感想が出されました。

ザスパ草津は、試合会場での献血PRや献血推進ポスターへの出演、東日本大震災の義援金募金活動など、赤十字活動を積極的に支えているチーム。今回の講習会により、救急法講習のいっそうの普及が期待されています。

心からの寄付をありがとうございます

都道府県	お名前・社名・団体名 (順不同・敬称略)	寄付内容、金額など
岡山県	株式会社ザグザグ	台風12号被害の復興活動用として約2000本の手指消毒ジェル
山形県	鈴木内科胃腸科医院 鈴木宗世院長	東日本大震災の救援活動資金として100万円 厚生労働大臣感謝状贈呈
徳島県	吉野川市阿波踊り 振興協会	阿波踊り大会で集めた募金10万1446円を 赤十字活動資金として
北海道	札幌市ダンスライブ 赤十字奉仕団	チャリティーダンスパーティーで集まった資金 を東日本大震災で被災した視覚障害者へ

- このほかにも全国でたくさんの寄付をお寄せいただいています
- 東日本大震災への義援金は上記に含まれておりません
- 寄付についてのお問い合わせは、ホームページ(www.jrc.or.jp)またはナビダイヤル(0570-009595)まで

予約
受付中!

2012年版 赤十字手帳

毎年恒例 赤十字に関わる多くの方に
ご活用いただいています。

2011年11月下旬から2013年3月
まで記入できるようになり、アドレス
メモページも増えました。

1冊 300円 (税込・送料別)

▶ 赤白リバーシブルカバー

▶ 約110g

▶ (縦)約150mm
(横)約90mm
(幅)約10mm

▶ 3カ年カレンダー

▶ ダイアリー
(年間: 野線式/月間: ブロック式/週間: レフト式)

▶ 別冊赤十字便覧・アドレスメモ

※送料: 最大567円 (ご注文金額が2万円以上の場合、
横日赤サービスが負担いたします)

New

2011年11月中旬、発送開始予定

ご予約(購入)方法

下記記載事項をすべてご記入のうえ、
以下の通りお申込みください。

▶ 記載事項

- お名前(ふりがな)・お電話番号
- 商品名・数量・ご請求書の宛名
- ご送付先住所(郵便番号含む)

▶ 申込先

F A X 03-3459-1432
メール info@nisseki-service.com
お薬書 〒105-0012
東京都港区芝大門1-1-3
(株)日赤サービス

※日赤本社ビル西館1階日赤サービス
売店でもご購入いただけます。
平日: 9時~17時
電話: 03-3437-7516

年賀郵便の寄付受け 岩手に5台の福祉車両



福祉車両は、宮古市、釜石市、大船渡市、陸前高田市、大槌町の5カ所に配置

岩手 2011.9.9

郵便事業株式会社が「平成23年度年賀寄付金配分事業」の一環として行う東日本大震災被災者救援の助成を受け、日本赤十字社は9月9日、岩手県内にリフト付き福祉車両5台を配置しました。

5台の福祉車両は、津波被害の大きかった沿岸部の5地区に配置。障害者などの送迎や近隣福祉施設の送迎手段としても活用される予定です。

陸前高田市の担当者からは「介護・特養老人ホームでの移送サービスや利用者の自宅送迎に活用したい」という声が聞かれるなど、被災地で暮らす高齢者や障害者の生活の「足、となる」ことが期待されています。

東日本大震災 心の絆プロジェクト 看護師ら132人が参加



ハープの美しい音色に子どもたちもうっとり

全国 2011.7~9

被災者のこころのケアを目的に、健康セミナーや音楽鑑賞会、子どもたちへの本の読み聞かせなどを行う「ヒューマン・ケア～心の絆～プロジェクト」が7~9月にかけて、東日本大震災被災地の避難所や仮設住宅で開催されました。博報堂や製薬会社のグラクソ・スミスクラインなどの主催で、日本赤十字社からも看護師など延べ132人が参加。被災者の方々のストレスケアに努めました。

宮城県内の仮設住宅に住む参加者の一人は、「これまでは同じ仮設住宅に住んでいても、入居者が顔を合わせたり話をしたりする機会は少なかった。このような催しはとても楽しい。今後も続けてほしい」と語りました。

※ Webへの表示があるものは日赤ホームページ(www.jrc.or.jp)で詳細をご覧ください

Voice&プレゼント

忘れてはならない陰ながらの支援 橋本文隆(佐賀県唐津市)

8月号掲載の広報大使・藤原紀香さんの記事が目をはきました。彼女にとって3回目の被災地訪問だったそうですが、その姿は被災者の方々に勇気と希望を与えたに違いありません。もちろん、多くの人たちの陰ながらの支援も被災地を励ましている。その苦勞を忘れてはならないと思います。

プレゼント応募方法

以下の項目を明記の上、郵送・FAX・メールにてご応募ください。
右記で紹介した『石巻赤十字病院の100日間』(石巻赤十字病院+由井りょう子)を3名様にプレゼントします。

- ① お名前(匿名ご希望の場合はその旨もご記入ください)
- ② 郵便番号・ご住所
- ③ 電話番号
- ④ 年齢
- ⑤ 赤十字新聞10月号を手にされた場所(例/献血ルーム)
- ⑥ 赤十字新聞へのご意見・ご感想や、扱ってほしいテーマなど

応募先

・ 郵送 / 〒105-8521
東京都港区芝大門1-1-3
日本赤十字社 企画広報室
赤十字新聞10月号プレゼント係

・ FAX / 03-3432-5507

・ メール / koho@jrc.or.jp

(件名「赤十字新聞10月号プレゼント係」)

● 応募締切 / 10月28日(金) 必着

※ 当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



書籍紹介



■ 「石巻赤十字病院の100日間」 石巻赤十字病院+由井りょう子

— 東日本大震災 医師・看護師・病院職員たちの苦闘の記録 —

東日本大震災で災害時救急医療の最前線として、石巻22万人の「いのちのとりで」となった石巻赤十字病院。家族の安否もわからない状況の中、殺気立つ院内で不眠不休の医療を提供し続けた病院スタッフと、そこで生まれた様々な人間ドラマを追ったドキュメントです。 1575円(税込) / 小学館

■ 「夢をはこぶ船」 池上健二

名古屋第二赤十字病院に勤務する日赤職員の著者が、院内報「やまのて」に連載してきたコラムをまとめた一冊です。 1260円(税込) / ゆいぽおと

赤十字と巨人がコラボ 大盛況のチャリティー販売

福井 2011.8.30



福井県営球場で8月30日に開催された巨人対横浜戦で、「巨人軍赤十字支援プロジェクト2011」のイベントが実施されました。

球場周辺に設けられた赤十字テント内では坂本勇人選手デザインのトートバッグを販売。収益金は東日本大震災の復興に充てられるもので、購入者には抽選で選手のサインボールや色紙がプレゼントされました。

テント前には特設ステージ「G-king」も設けられ、巨人軍と福井県支部の職員が壇上から同プロジェクトをPR。あわせて、東日本大震災で日赤が行った救護・支援活動の報告や寄せられた義援金へのお礼も行われました。



ハイチ被災地で健康ボランティア育成中 いのちと健康を守る視点大切に コミュニティ再生を応援

「おーい。今から健康講座をやるからみんな集まってくれー」

広場でボランティアの青年が呼びかけると村人たちが三々五々集まってきました。「前回のHIV・エイズの話は参考になった。今日は何の話題?」と参加者の関心は上々。ボランティアの青年はイラスト入りパネルを掲げ、安全な出産について語り始めました。

2010年1月の大地震で首都ポルトープランスを中心に壊滅的被害を受けたハイチ。医療チームによる支援を終えた日本赤十字社は、現在復興に向けて、被災地の一つレオガン市にて国際赤十字・赤新月連盟(IFRC)やハイチ赤十字社とのパートナーシップ事業を展開。地域住民の中に病気予防や保健衛生の力を育て、コミュニティの健康改善、ひいてはコミュニティの復興を目指すプロジェクトを行っています。

活動地の一部地域では研修を終えたボランティアが村での講習会などを開始しています。

今年2月から現地へ派遣され、このほど帰国した浦上友美看護師(熊本赤十字



ボランティアを対象にした研修では、住民への上手な伝え方についても学ぶ

病院)は「家庭訪問をしたボランティアが、栄養不良の乳児を救った事例も報告されています」と顔をほころばせます。

地域に蔓延する 間違った健康常識

世界最貧国の一つで、震災前から医療や保健衛生のインフラ整備が遅れていたハイチでは、健康や病気に関する間違った常識や習慣が少なくありません。

「出産直後の乳児にはミルクを与えてはいけなとか、母乳を毛嫌いで粉ミルクに頼る習慣とか、女性と子どもの健康にかかわる間違いが特に目立ちます」。HIVの感染も深刻な事態が予想されていて、対策が急務となっています。

プロジェクトは、こうした健康や保健に関する問題点を住民自身に認識してもらい、解決に向けた取り組みを赤十字と一緒に考え、進めていこうというもの。そのカギを握るのが正しい健康知識を持ったボランティアです。

500人のボランティア を育てたい

ボランティアを募る村民集会。IFRCの



健康講座への参加を村人へ呼びかけるボランティア

ハイチスタッフが「赤十字は、私たちが抱える健康問題を、ボランティアの力で解決していこうと思います」と訴えると、住民から必ず出される意見があります。

「なぜ病院を建ててくれないのか」

この質問に対するハイチ人スタッフの答えは「外国からの支援はいずれなくなる。その時、誰が医者や看護師の給与を払うのか?」。いま病院を建てても、後に残るのは建物だけですが、ボランティアを育てれば、健康に関する知識は受け継がれ、それが村人のいのちと健康を守ることが強調します。

こうした取り組みで共感が広がり、村々から選出されたボランティアは140人に。新生児ケアや安全な出産、予防接種、HIV・エイズなど一定の研修を終えた



55人は地域での活動を始めています。浦上さんは「ボランティアによる健康講座や家庭訪問は、住民の評判も高い。ボランティアのモチベーションも上がっています。来年10月までにはレオガン市全体で500人のボランティアを育てる計画です」と事業の手応えを語っています。

「世界ボランティア会議」開催 日赤防災ボランティアが経験踏まえ報告

「東日本大震災のような大規模災害に備えて、情報も含めた調整スキルのある防災ボランティアを養成することが急務です」——ハンガリーのブダペストで9月15日から17日まで開催された「世界ボランティア会議」に、日本赤十字社から防災ボランティア坂本宏明さんと組織推進部の齋藤実央さんが参加。東日本大震災での取り組みや課題などを報告しました。

求められた長期派遣

「世界ボランティア会議」は、2011年が「ボランティア国際年」の10周年にあたることから国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)や国連ボランティア計画が共催。各国の赤十字関係者や国連、各国政府など約200人が参加し、それぞれの実践を踏まえて意見交換を行いました。

「ボランティアによる災害マネジメント」をテーマにした分科会で日赤は、東日本大震災では被災地や地元で延べ7万人の赤十字ボランティアが活動したことを紹介。ボランティアセンター(VC)設置や被災地と本社を結ぶチャトル便の運

行など「防災ボランティア派遣の仕組みを整えられたことが成果」と報告しました。

日赤本社や岩手県内のVCで被災地のボランティアニーズ把握や、コーディネート業務などに携わった坂本さんは、「平時の訓練で連携している被災地の防災ボランティアリーダー自身が被災したことから、現地のニーズ把握を想定どおりに行なうことが困難だった」と問題点を指摘。今後の課題として「長期派遣に応えられるボランティア確保へ、ボランティア養成や効果的なネットワーク構築が急務」と課題提起しました。

一般ボランティアの活用で 意見も

こうした日赤の報告に対し各国参加者からは、7万人もの赤十字ボランティアの活動を支えた点などについて評価がでる一方、「東日本大震災のような未曾有の事態では、赤十字ボランティアだけでなく、一般ボランティアの活用も検討するべきではなかったのか」などの疑問も。また、Facebookなどソーシャルメディ



アを活用したボランティア募集も提案されました。

今回の会議参加について坂本さんは「国連ボランティアなど、社会構築や復興支援のノウハウ等についても知るこ

ができ、同じ赤十字関係者との議論は、その先見性・先進性・リアリティーにおいて刺激的かつ、理念を背景とした共通性を感じることができました」と振り返っています。

RED CROSS SYMPOSIUM 2011 赤十字シンポジウム2011

日赤とNHKが年末に取り組み「海外たすけあい」のキャンペーンとして開催される赤十字シンポジウム。25回目となる今年は「たすけあう世界へー東日本大震災と変わる支援の文化」をテーマに、今回の震災を契機に広がった支援の輪を、将来へとつなげていくための展望を探っていきます。

【日時】平成23年11月12日(土) 14:30~16:30
【会場】表参道ヒルズ本館地下3階 スペースオー(東京都渋谷区)

◆パネリスト

- 柳沢香枝(JICA国際緊急援助隊事務局長)
- 西條剛央(ふんばろう東日本支援プロジェクト代表)
- ナターシャ・グジー(歌手・バンドウーラ奏者)
- 丸山嘉一(日赤医療センター国内医療救援部長)
- ◆コーディネーター 渡辺真理(キャスター)
- ◆お申込み方法
 - *PC <http://www.redcross2011.org/>
 - *携帯 <http://www.redcross2011.org/m/>
 - *FAX 03-5790-0308
 - *はがき 〒105-8521 港区芝大門1-1-3 日本赤十字社 事務局国際部 「赤十字シンポジウム係」

◆必要記入事項

- ①郵便番号②住所③お名前④電話番号⑤年齢⑥何でこのシンポジウムをお知りになったか(A.チラシ B.HP C.ダイレクトメール D.新聞、雑誌等 E.赤十字新聞 F.知人から G.その他(具体的に:))
- ⑦[NHK海外たすけあい]募金キャンペーンのことをご存知でしたか(A.はい B.いいえ)
- ★応募者多数の場合は抽選とさせていただきます
- ◆締切り 11月3日(木) 必着
- ◆お問い合わせ 日本赤十字社国際部企画課 電話 03-3437-7087

